



自衛消防訓練 開催報告

業務課施設管理係 高谷優斗

去る7月7日(月)、院内スタッフ約60名が参加し、本館3階西病棟313号室からの火災を想定した消防訓練を行いました。今回の訓練では、酸素投与が必要な患者役を想定するなど、実際の現場で起こり得る具体的な課題にも対応できる内容を盛り込んでおり、参加者全員が緊張感をもって取り組む様子が見受けられました。



訓練後のアンケートでは、「大きな声ではっきりとした言葉で避難誘導が行われ素晴らしかったと思います。」「スタッフが落ち着いて冷静に対応していた姿が頼もしいと思いました。」など多くの好意的な意見をいただきました。一方で「応援者同士がより積極的に声を掛け合い、役割分担を行う必要性を感じた。」「避難誘導中に、応援者全員に具体的な指示を出すことが難しかった。」等課題もあつたため、次の訓練に活かしていきたいと思います。



「M&Mカンファレンス」を開催しました

医療安全管理部 嶋川久美子

7月10日(木)、M(mortality=死亡)&M(morbidity=合併症)カンファレンスを開催しました。M&Mカンファレンスとは、死亡例、合併症例、予期せぬ結果となってしまった実際のエピソードを取り上げ、多角的な視点から改善点を話し合うことを目的としています。今回は、循環器内科の吉田龍太郎医師が、自身関わった救急外来から入院後、急変し死亡に至った症例について発表し、ディスカッションを行いました。医師、看護師、薬剤師など約50名が参加し、活発な意見交換が行われました。今後の対応をより



良くできるよう、多職種が意見を交わす貴重な場となりました。



外来担当医表

※随時更新していますので下のURLか右QRコードよりご確認ください。

<http://www.hp-chuou-towada.towada.aomori.jp/old/03sinryo/03gairaiDoctorList.html>





臨床病理検討会(CPC) 開催報告

1年次研修医 新谷龍生・宇部清夏・吉田心



7月22日(火)、今年度1回目の臨床病理検討会(CPC)が開催されましたため、ご報告致します。今回も東北大学より病態病理学講座の古川徹教授にお越し頂き、剖検となった症例に関して、病理学的観点から解説をして頂きました。今回の症例は、原因不明かつ急速に進行した急性肝不全により亡くなられたものであり、病態の解明には臨床的観点のみならず、病理学的観点からの考察が非常に重要な症例でした。

会場では、最初に研修医から臨床経過や検査結果などを踏まえて、臨床の立場からの考察を提示し、次に古川教授より病理学的所見と考察を解説して頂きました。双方の観点からの考察により、急性肝炎の原因や病態に関して理解を深めることが出来ました。CPCは複数の観点から病態の検証を行い、理解を深めることが目的であり、今後の医療の発展にはなくてはならないものです。CPCは、患者様ご本人やご家族、医療関係者のご理解とご協力の下で行われております。この場を借りて皆様に深く御礼申し上げますと共に、ご報告とさせていただきます。



高校生1日看護体験 開催報告

副看護局長 川嶋明美

8月6日(水)、青森県看護協会が主催する「高校生一日看護体験」が当院で開催され、県内各地から15名の生徒が参加しました。一般病棟ではグループごとに清潔援助や配膳など患者様へのケアや、車いす乗車、バイタルサイン測定などを体験しました。今年度は、将来看護師を目指している生徒よりも医療職全般に関心をもつ生徒が多くみられました。意見交換では、短時間の経験の中で、高齢の患者様との接し方や、コミュニケーション方法、スタッフ同士の協働の大切さ、感染予防対策などの学びについて発表されました。アンケートでは一日体験により看護職(医療職)への興味が増したとの回答が多く、意義のある事業となりました。

